

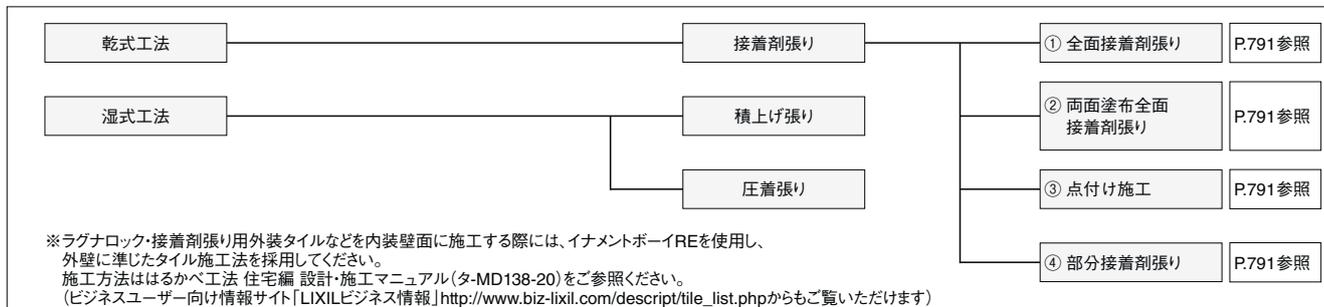
タイル張りの設計と施工
6 内装壁への施工

6 内装壁への施工

[1] 施工法の分類

内装壁タイルの施工法は、接着剤張りが主流となっています。この工法は、様々な下地及びタイルに適用できるとともに、従来用いられていたセメントモルタルに比べて変形性能が大きいことから下地や躯体の

動きに追随しやすく、剥離やひび割れ等の損傷が生じにくい特徴があります。



[2] 乾式下地

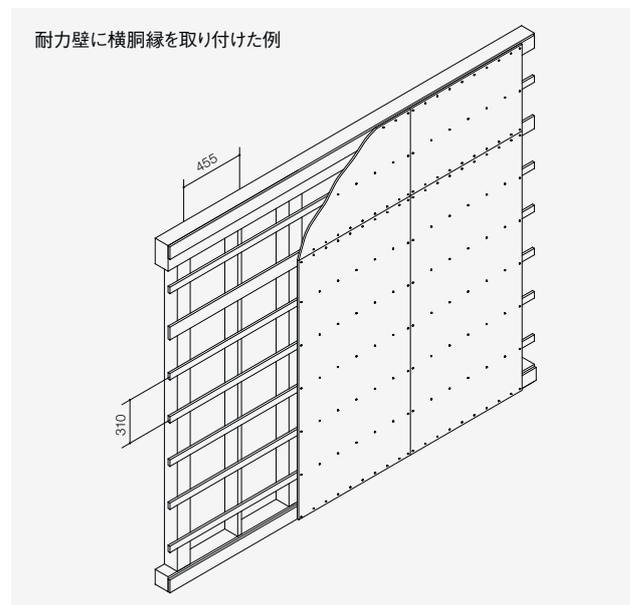
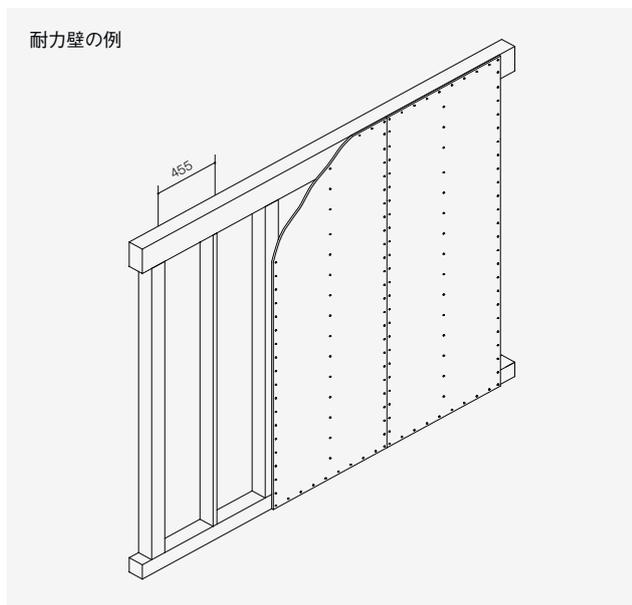
標準的な下地の仕様を以下に示します。下記以外の事項については、日本建築学会の「JASS26 内装工事」、「JASS11 木工事」を参照してください。

① 木造下地

木製壁下地材の種類・寸法・取付け間隔

	用途	部材の種類	寸法 (mm)	間隔 (mm)
一般壁	耐力壁	柱、間柱	105×105, 30×105	455
		胴縁	(15,20,24)×90/2	310
	真壁	間柱	30×(45,60,65)	455
		胴縁	(17.5,25)×100/2, 45×100	455
	コンクリート壁添え	木ずり、下地板	(12,20)×80	455
	枠組壁工法	たて枠	38×89, 38×140	650以内
上枠、下枠		—		

(日本建築学会 せっこうボードドライウォール指針・施工指針・同解説より)



② 鋼製下地

鋼製壁下地材の種類

単位:mm

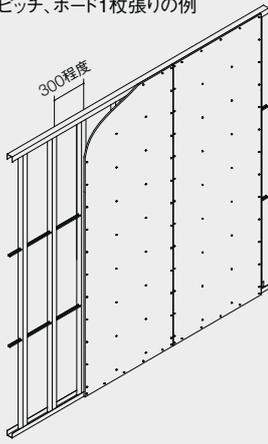
部材種類	記号	スタッド		ランナー		振止め		スタッドの高さによる区分
		記号	寸法	記号	寸法	記号	寸法	
50形	WS-50	50×45×0.8	WR-50	52×40×0.8	WB-19	19×10×1.2	2.7m以下	
65形	WS-65	65×45×0.8	WR-65	67×40×0.8			4m以下	
75形	WS-75	75×45×0.8	WR-75	77×40×0.8	WB-25	25×10×1.2	4mを超え 4.5m以下	
90形	WS-90	90×45×0.8	WR-90	92×40×0.8			4.5mを超え 5m以下	
100形	WS-100	100×45×0.8	WR-100	102×40×0.8				

(日本建築学会 JASS26 より)

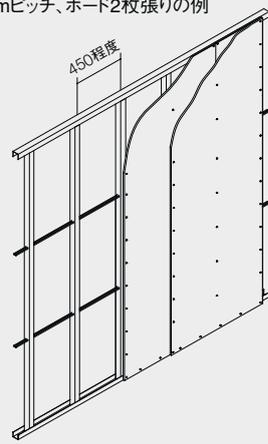
タイル張りの設計と施工
6 内装壁への施工

スタッドの間隔 ・ ボード1枚張りの場合…300mm程度 ・ ボード2枚張りの場合…450mm程度 ・ デラクリートセメントボードは450mm程度

スタッド間隔300mmピッチ、ボード1枚張りの例



スタッド間隔450mmピッチ、ボード2枚張りの例



③その他の下地

せっこうボードは、コンクリート、ALCパネル(間仕切り)などへの直張り工法(GL工法)があります。直張り工法については、せっこうボードメーカーの仕様に従ってください。

④推奨下地ボード

タイル

タイルの厚さ	下地ボード
15mm以下	せっこうボード 9.5mm厚以上 けい酸カルシウム板 比重1.0 6.0mm厚以上 合板 1類以上 9.5mm厚以上 デラクリートセメントボード、アクアパネル
15mmを超える	けい酸カルシウム板 比重1.0 6.0mm厚以上 合板 1類以上 9.5mm厚以上 デラクリートセメントボード、アクアパネル

石材

商品名	下地ボード
ストーンモザイク エクセンシア アルターノ	せっこうボード 9.5mm厚以上 けい酸カルシウム板 比重1.0 6.0mm厚以上 合板 1類以上 9.5mm厚以上 デラクリートセメントボード、アクアパネル
上記以外	けい酸カルシウム板 比重1.0 6.0mm厚以上 合板 1類以上 9.5mm厚以上 デラクリートセメントボード、アクアパネル

[3]施工法各論

接着剤張りは、タイルの種類と大きさにより、適切な施工法を選択する必要があります。使用する接着剤は、P.742をご参照ください。

タイルの種類	タイルサイズ	推奨施工法
エコカラット*1 エコカラットプラス*1 デザインクラフト インテリアモザイクタイル 外装壁モザイクタイル 外装壁タイル[はるかべ工法用] ラグナロック	—	全面接着剤張り
内装壁タイル*2 床タイル*3 テラコッタ陶板*4 大形タイル*4	300mm角以下	全面接着剤張り
	300mm角を超え 450mm角以下	全面接着剤張り 部分接着剤張り 点付け施工
	450mm角を超え 600×900mm角以下	部分接着剤張り 点付け施工
外装壁タイル	—	両面塗布全面接着剤張り 点付け施工

*1 壁紙の上から施工する場合は、タッカーで壁紙を固定してください。詳しくは「エコカラット施工マニュアル」(タ-IG122-4)をご参照ください。
*2 300mm角を超えるタイルを吹き抜け等の3m以上の高さに施工する場合は、脱落防止用のなましステンレス線を取り付けて施工してください。
*3 庵路、新砂岩タイル床用150mm角は、裏足が高いため、両面塗布全面接着剤張りまたは点付け施工としてください。
*4 300mm角を超える大きさのタイルを吹き抜け等の3m以上の高さに施工する場合は、FA-S工法(P.777)により施工してください。

■注意事項

- (1) 全面接着剤張りは、タイル裏面への接着剤の接着割合が60%以上になるように塗り厚を調整してください。
- (2) 外装壁タイル[はるかべ工法用]およびラグナロックは、イナメントボーイREを使用し、外壁と同じ方法で施工してください。
- (3) タイルによっては、ずれることがあります。その場合は、下部から施工してください。また、必要に応じて、タイル1枚ごとに目地部にスパーサーを介して張り上げてください。
- (4) 両面塗布全面接着剤張り及び点付け施工は、イナメントE-73を使用してください。点付け施工の場合は、接着剤の付着面積が50%以上で、張り代が3mm以内となるようにしてください。
- (5) 出隅や取付金物などの力が加わりやすい部分では、両面塗布全面接着剤張りとし、タイル裏面にすき間ができないように施工してください。
- (6) 浴室への施工は、全面接着剤張りまたは両面塗布全面接着剤張りとしてください。部分接着剤張りおよび点付け施工では、白華が発生するため、行わないでください。下地は、コンクリート、モルタル、デラクリートセメントボードを使用してください。
- (7) 浴槽内はモルタルで施工してください。下地は、コンクリートまたはモルタルとしてください。

タイル張りの設計と施工

⑥ 内装壁への施工

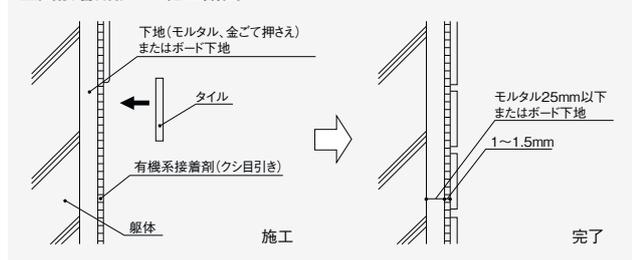
① 全面接着剤張り

全面接着剤張りは、タイル裏あし高さが2.0mm未満のタイルに適用します。平坦な下地に張り付け用接着剤をくし目コテ(5mmまたは3mm高さ)で塗布し、タイルをしっかりと揉み込むように叩き押さえをして張り付ける工法です。

〈施工のポイント〉

- タイル裏あし高さが1.0mm未満の場合は3mmのくし目コテ、1.0mm以上2.0mm未満の場合は5mmのくし目コテを使用します。
- クシ目はしっかりと立てて塗り付けます。ガラスモザイク、エコカラットの一部はクシ目を立てて塗り付けた後に平にならします。適用タイルは各商品ページを参照してください。
- イナメントE-73、ESK-E-81以外の接着剤を使用する場合は、下地を十分に乾燥させてから、タイル張りを行います。
- タイルがずれる場合は、下から積み上げてください。

全面接着剤張りの施工断面



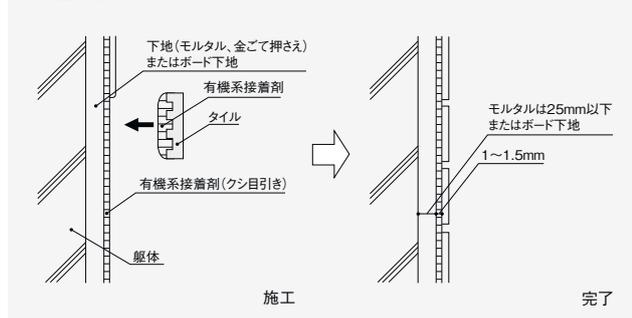
② 両面塗布全面接着剤張り

両面塗布全面接着剤張りはタイル裏あし高さが2.0mm以上のタイルに適用します。タイル裏面に接着剤を十分に塗り込み、クシ目塗布された下地面にしっかりと揉み込むようにして張り付ける工法です。

〈施工のポイント〉

- クシ目はしっかりと立てて塗り付けます。
- タイル裏あしに十分に接着剤が充填するようにします。
- 接着剤は、イナメントE-73を使用します。
- タイルがずれる場合は、下から積み上げてください。

両面塗布全面接着剤張りの施工断面



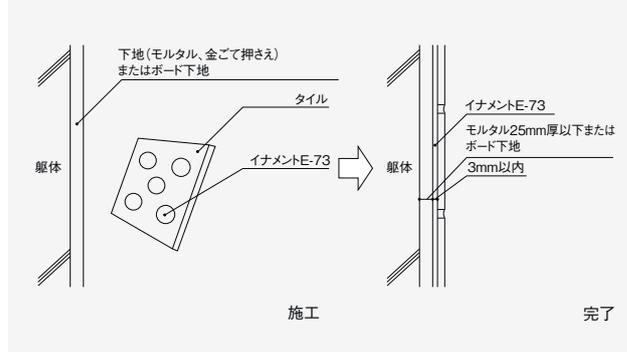
③ 点付け施工

点付け施工は主に大形のタイルに適用します。タイル裏面に接着剤を点状に塗り付け、下地面にしっかりと揉み込むように押さえつけて張り付ける工法です。

〈施工のポイント〉

- 接着剤はイナメントE-73を使用します。
- 張り付け後の接着剤の付着面積が50%以上、張り代が3mm以内となるようにしてください。
- タイルがずれる場合は下から積み上げてください。

点付け施工の施工断面



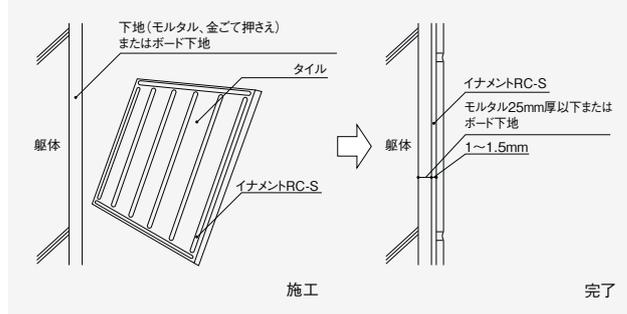
④ 部分接着剤張り

部分接着剤張りは、主に大形のタイルに適用します。接着剤をタイル裏面の周辺部とその内側に15cm以下のピッチでビード状に塗布し、下地面にしっかりと揉み込むように押さえつけて張り付ける工法です。張り付け時には、スペーサーを介して積み上げます。

〈施工のポイント〉

- 接着剤は弾性接着剤RC-Sを使用します。
- 張り付け時には目地スペーサーを介してタイル荷重を支え、ズレ防止を図りつつ積み上げて張り付けます。(専用受け金具を使用して張り付ける方法もあります。)
- 下地を十分に乾燥させてから、タイル張りを行います。

部分接着剤張りの施工断面

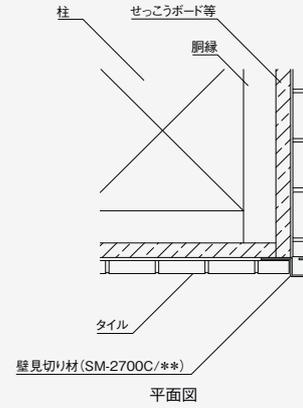
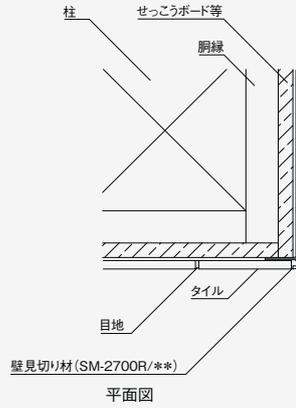
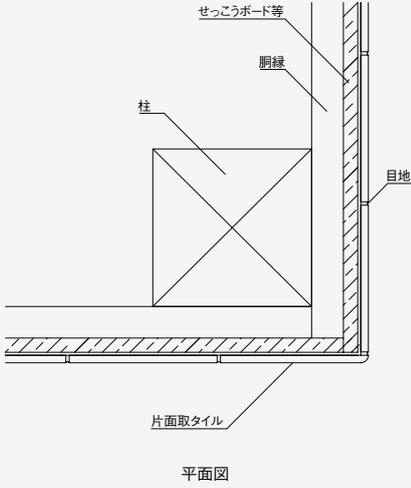


タイル張りの設計と施工
6 内装壁への施工

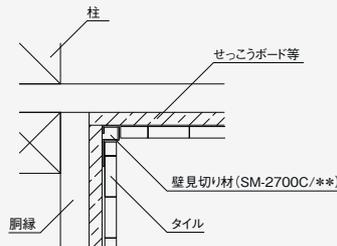
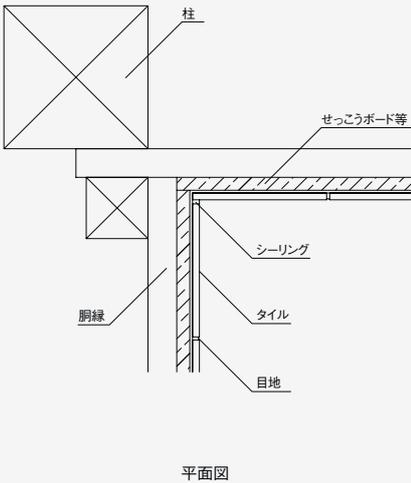
[4] 納まり

① 内装壁タイル・エコカラット・エコカラットプラス

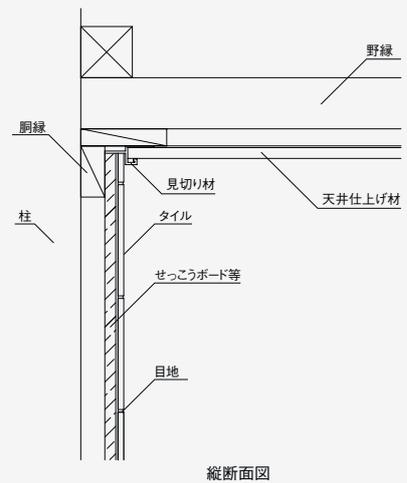
〈出隅部〉※取合いでタイルの切断が必要な場合は、シーリング等で処理してください。



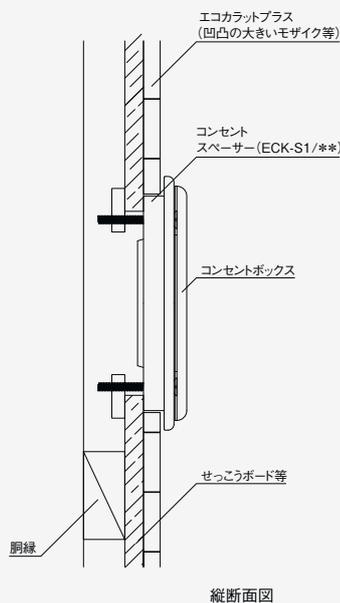
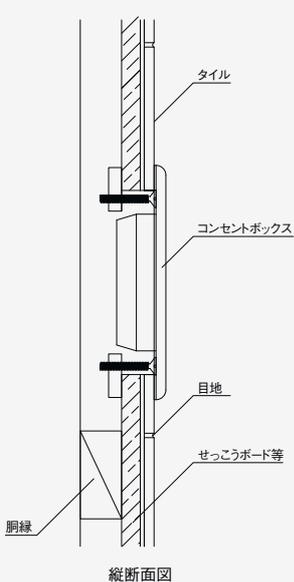
〈入隅部〉



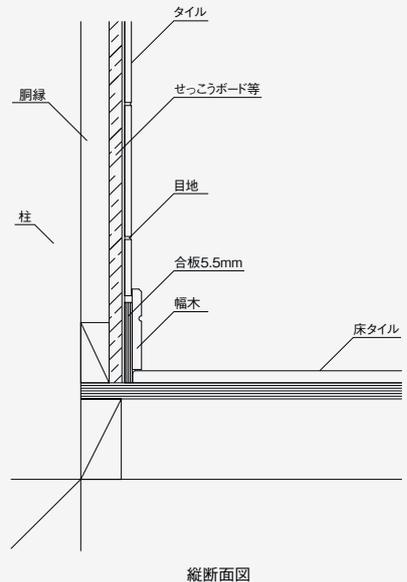
〈天井との取合い〉



〈コンセントとの取合い〉



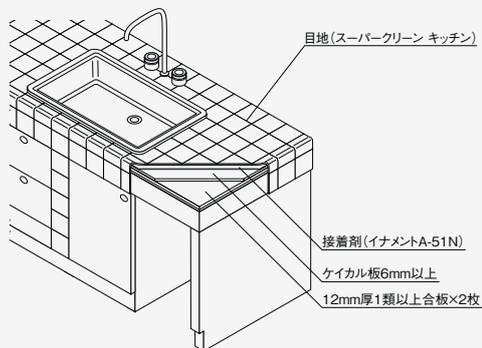
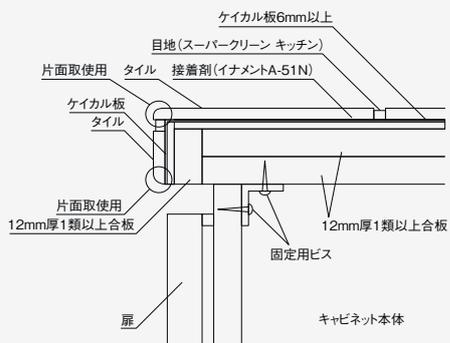
〈床との取合い〉



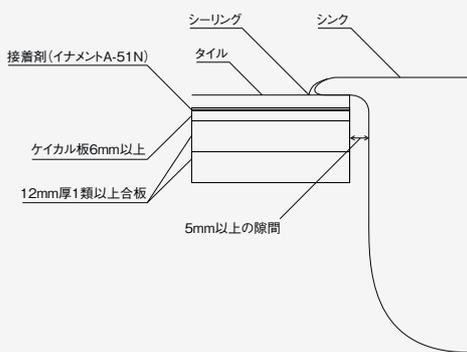
タイル張りの設計と施工
⑥ 内装壁への施工

②カウンタータイルの仕上げ

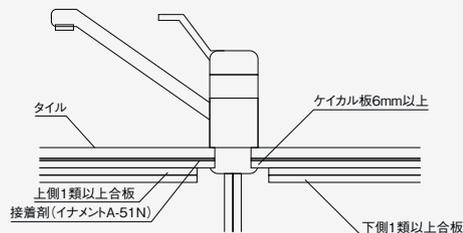
〈下地外周部の納まり〉



〈シンク及び洗面器の納まり〉



〈水栓金具まわりの取付け〉



〈ガスレンジまわりの納まり〉

